

施策評価調書(25年度実績)

施策コード I-8-(1)

政策体系	施策名	地域で共に支え合うまちづくり	所管部局名	企画振興部・福祉保健部	長期総合計画頁	67
	政策名	地域の底力の向上～助け合い、支え合いにより豊かな地域生活の実現～	関係部局名	企画振興部・福祉保健部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	地域ぐるみで支え合う社会づくり	心豊かな福祉社会の発展を担うひとづくり	バリアフリー化の推進とユニバーサル社会の構築

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		25年度			26年度	27年度	目標達成度(%)											
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125							
i	見守りなどの小地域ネットワーク組織が設置された自治会数(団体)	①	H16 1,461	2,570	2,715	105.6%	2,720	2,870												
ii	自主防災組織活動実施率(%)	①	H16 41.8	76	72.2	95.0%	88	100												
iii	授業に地域人材を活用している学校の割合(%)	小学校	①	H16 90.1	98.2 (H24)	99.7 (H24)	101.5%	99.4	100											
		中学校	①	H16 76.2	93.7 (H24)	94.2 (H24)	100.5%	97.9	100											
iv	ボランティアコーディネーター率(県ボランティア・市民活動センター)(%)	②	H22 39.3	46	69.9	152.0%	48	50												
v	社会福祉士の登録者数(人)	②	H16 742	2,100	2,055	97.9%	2,250	2,400												
vi	介護福祉士の登録者数(人)	②	H16 5,723	14,400	14,678	101.9%	15,400	16,400												
vii	バリアフリー化された県営住宅の割合(%)	③	H16 11.2	20.0	20.0	100.0%	21	22												
viii	公共的施設などで車いす使用者が利用できるトイレの設置割合(%)	③	H15 42.1	56	51	91.1%	58	60												
ix	あったか・はーと駐車場協力施設数(施設数)	③	H22 0	1,000	1,036	103.6%	1,000	1,000												

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i	達成 地域住民で共に支え合い、誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる地域づくりが進み、目標値を達成できた。	達成
ii	概ね達成 防災訓練の実施回数が、前年度に比較して増加(+339件)したことなどにより目標を概ね達成した。取組不十分の市町村には、引き続き訓練実施を働き掛けている。	
iii	達成 地域人材を授業で活用する意義や「協育」ネットワークの広報が周知されてきたことにより、目標を達成できた。なお、25年度実績が11月頃公表予定のため、24年度の数値を記載している。	
iv	達成 東日本大震災や九州北部豪雨災害での災害ボランティアの活動をはじめ、県民の社会貢献、福祉活動等への関心の高まりとともに、ボランティア活動への理解も深まっており、ボランティア新規登録後、すぐにボランティア活動の実践へと結びついている。	
v	概ね達成 目標値には僅かに届かなかったが、職場体験や福祉就職フェアの開催など、福祉・介護の仕事への入職率増加に向けた取組の成果もあり、前年度比で131人増加した。	
vi	達成 職場体験や福祉就職フェアの開催をはじめ、当事者団体による休職者の再就職支援など、福祉・介護の仕事への入職率増加に向けた取組の成果もあり、目標値を達成した。	
vii	達成 計画に見合う改善ができており、高齢者や障がい者にやさしい住宅づくりに寄与している。	
viii	概ね達成 目標値には僅かに届かなかったが、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方が普及し、新築の建物等においては、設置率が上昇している。	
ix	達成 県下各地の事業所を直接訪問し依頼するという取組を行ったことにより、目標値を達成することができた。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・平成27年4月1日施行の生活困窮者自立支援法に基づく、生活困窮者支援の体制構築に向け、日出町において生活困窮者に対する支援事業を実施するとともに、各市への情報提供や町村部の実施体制の構築に向けた取組を実施した。
②	・社会福祉従事職員や民生委員・児童委員等に対する研修を実施し、人材の資質向上を図った。
③	・県内の53校の小中学校において、2,990人の児童生徒を対象に、身体障がいのある当事者や支援者等による出前講座を行い、ユニバーサルデザインの理解促進を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(25年度事業)	事業コスト(千円)	26年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	生活困窮者支援体制構築事業	9,896	継続	75
②	豊の国福祉を支える人づくり研修事業	22,115	継続	76
	福祉・介護人材確保対策事業	33,755	継続	77
	福祉ボランティア活動活性化事業	16,673	継続	78
③	福祉ボランティア・市民活動推進事業	9,176	継続	79
	県営住宅整備事業	622,518	継続	204
	安心おでかけユニバーサルデザイン推進事業	27,130	継続	80

【VI. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H25.7.26) ・あったか・はと駐車場については、利用者から「このお店にはなぜ無いの」と声が上がるようにするとい。	○「ユニバーサルデザイン出前授業」実施後アンケート ・多くの生徒がユニバーサルデザインという言葉が知らなかったが、UD文房具等、実際にユニバーサルデザインに触れ、体験することで、どういうものか理解できたようだ。
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年の生活困窮者支援法の施行を円滑に行うため、各市町村、社会福祉協議会及び関係機関・団体に情報交換を行い、具体的な施行準備に係る課題の解決や、協力関係の構築を図る。 ・ユニバーサル社会の構築を促進するため、民間事業者の協力を得て、県民が身近なユニバーサルデザインに触れることのできるコーナーを設置するとともに、学校をはじめ、地域や職場でのユニバーサルデザイン出前講座の開催を行い、より一層の推進を図る。